



2020. 4. 22 中山休憩所付近で撮影

## メジロの雛<sup>ひな</sup>

(スズメ目メジロ科メジロ属)

メジロは、目の周りの白い輪<sup>とくちょう</sup>が特徴で、名前の由来ともなっています。親鳥は全長約12cmで、スズメよりも小さな鳥です。4月～7月ごろ産卵し、<sup>おすめす</sup>雄雌が交互に、卵を温めたり、餌<sup>えさ</sup>を運んだりします。生まれた<sup>ひな</sup>たての雛は羽が生えておらず、オレンジ～ピンク色で、成長するにつれてだんだん羽が黄緑色になってきます。雛の成長は早く、<sup>ふか</sup>孵化から12日ほどで巣立ちます。一度、巣立つとその巣には二度と戻ることはありません。